

S協名誉会長 高瀬達三氏（享年 91 歳）のご葬儀が、令和2年（2020年）11月21日 横浜市菊名の妙蓮寺にて執り行われました。

S協から 供花 そして 別紙の「弔辞」を御霊前にお供えいたしましたので、お知らせします。

合掌

（会長・沖吉 和祐）

弔 辞

高瀬達三名誉会長のご霊前に、一般社団法人 日本スクエアダンス協会を代表して、謹んで告別の辞を申し上げます。

高瀬名誉会長は、昭和四年に中国青島でご誕生、東京大学法学部を卒業後、東芝に入社されました。東芝で、勤務課長としてご勤務された折のレクリエーション活動への多大なご尽力が評判となり、その後、日本レクリエーション協会でご活躍をされ、故三笠宮崇仁殿下のご指名のもと、昭和六〇年に日本スクエアダンス協会（S協）会長にご就任なさいました。そして、二九年間にわたり会長をお務めいただき、退任後は名誉会長としてご指導いただきました。したが、S協における全ての活動は、スクエアダンスを愛される温かな情熱の表れで、高瀬様の生涯の仕事となりました。

平成五年、会員数が四千七百名のとき『みんなをড়ে上げよう一万人の輪』のキャッチフレーズで会員拡大の大作令をあげられ、平成一三年末に目標達成した後には、新たなキャッチフレーズ『スクエアダンスは友の輪 人の輪 ダンスの輪』を掲げ、常に先頭にお立ちになり、スクエアダンスの普及と本協会の発展に努めていただきました。

これらの大きなご功績に對しまして、ご霊前で、改めて深くお礼申し上げます。

S協の社団法人化にも並々ならぬご尽力をいただき、平成二二年四月に念願の一般社団法人発足に至りました。そして、平成二四年には、スクエアダンスの本場であるアメリカの国際スクエアダンスコーラーズ協会（コーラーラブ）から、スクエアダンス界最高の賞であるマイルストーン賞受賞の栄誉に浴されました。コーラー以外からの受賞は極めてまれですが、高瀬さんのご活躍が世界的に認められたことは特筆すべきことであります。

振り返りますと、昭和六〇年のS協会長就任に当たり、故三笠宮崇仁殿下のお奨めもあり、スクエアダンス、ラウンドダンスの講習を受けられ、私どもと一緒にダンスを楽しまれました。様々な行事で毎週のように各地を回られ、セレモニーにおける力強く心温まるご挨拶は、今でも聞こえてくるようです。

平成二六年に会長をご退任された後も、クラブの例会や全日本コンベンション、各統括支部のジャンボリーに会長就任時と同じように積極的に参加なさり、みんなを励ましてくださいました。三〇年以上にわたるご活動の中で、高瀬さんと踊り語った体験は、多くの愛好者の記憶に残ることでしょう。

ここ数年体調を崩され、全日本コンベンションには祝電のみのご参加となりましたが、そのダンスに向けての熱意は電文にしっかりと記されており、変わらぬお気持ちに改めて感ずることができました。

高齢化への対応が大きな課題となっており折も折り、コロナ禍のもと、各クラブの例会や各地のパーティー、行事などスクエアダンス活動が停滞している昨今、高瀬名誉会長の熱い思いを私どもにお声がけいただきとてころですが、そのお声を聞きでなくなってしまう、それは誠に残念です。

高瀬会長の思いを胸に、コロナの克服に向けての活動、そして今後のスクエアダンス活動の展開に会員一同協力して参ります。どうぞ、高いところからお見守りください。

心からご冥福をお祈りいたします。

令和二年一月二一日

一般社団法人 日本スクエアダンス協会 会長 沖吉 和祐